

[横浜みなとみらいホール]
平成 27 年度業務計画
[公益財団法人横浜市芸術文化振興財団]

- ※ 文中の事業欄において、
●：主催事業。○：共催事業
を示します。
- ※ 文中の達成指標欄において、
□：定量的指標。■：定性的指標
を示します。

1 施設の概要

施設名	横浜みなとみらいホール
所在地	横浜市西区みなとみらい 2-3-6
構造・規模	鉄骨鉄筋コンクリート造 地下1階地上7階建て
敷地・延床面積	専有延べ床面積 18,688㎡
開館日	平成10年5月31日（大ホール）・2月1日（小ホール）

2 指定管理者

団体名	公益財団法人横浜市芸術文化振興財団
所在地	横浜市中区山下町 2 産業貿易センタービル 1 階
代表者	理事長 澄川 喜一
代表者設立年月日	平成 3 年 7 月 1 0 日
指定期間	平成 2 4 年 4 月 1 日から平成 3 4 年 3 月 3 1 日まで

3 施設運営にかかる基本方針

(1) 基本的な方針

横浜みなとみらいホールは、第二期指定管理事業計画書における 10 年ビジョンとして、“豊かな「音楽社会」を拓くコンサートホール”の実現を掲げています。このビジョンを実現するため、「常時、世界の魅力ある多彩な音楽をだれもが楽しめるホール」、「次代における音楽と市民生活の関係を拓く」、「音楽社会を支える人材を輩出し、人材の循環を起こす」、「地域社会、市民生活への貢献」につながる取組みを総合的に展開し、芸術文化の役割を最大限発揮します。

第 2 期（平成 27-29 年度）においては、「社会的課題への対応の可能性の拡大」を課題とし、市民が音楽に触れるきっかけとなるようなあらたな事業・これまで継続してきた事業、それぞれの魅力をより分かりやすく伝えるため、「驚き」をコンセプトとして質の高い事業を展開し、音楽社会の顧客拡大と都市の魅力づくりに寄与することを目指します。

(2) 平成 27 年度の業務の方針・達成目標

「政策協働型指定管理 10 年（平成 24-33 年度）」の中期第 2 期（平成 27-29 年度）の初年度として、第 2 期の課題・横浜市中期 4 か年計画を踏まえた取組みに重点を置きます。市民があらたに音楽の扉を開くきっかけや、これまで積み重ねてきた事業の魅力伝えるため、「驚き」のある質の高い事業を展開します。また、これらを実現するため、組織体制・プロモーション強化についても重点的に取組みます。

また、平成 27 年度は横浜市横浜アーツフェスティバル（ダンス）が開催されることから、横浜みなとみらいホールにおいてもダンスとコラボレーションした事業について柔軟に対応していきます。これにより、フェスティバルの賑わい創出に寄与するとともに、翌 28 年度開催予定の「横浜音祭り 2016」への足掛かりをつくります。

【事業】

横浜市の「東アジア文化都市」政策や、横浜アーツフェスティバル（ダンス）を見据えて、平成 27 年度は「ダンスとのコラボレーション」を軸に多様な演奏会を展開していき、「東アジア文化都市」の定着のために尽力します。

また、市民への音楽普及・育成活動を活発化させ、次世代育成事業などを、もう一段進めた事業展開をいたします。

【運営】

お客様のニーズや利便性を考慮し、ホールの利用促進を図ります。また、稼働率向上が課題である音楽練習室やレセプションルームの PR も実施します。お客様を第一線でお迎えするレセプションистの研修を充実させスキルアップを図るとともに、その役割について周知する機会を設けることで、ホールの魅力を伝える一助とします。翌年度の音祭り開催を念頭に入れ、ソフト面の充実を図って参ります。

【広報】

ホール周辺の地域や企業・他団体、プレス関係等との連携を強化することで、横浜みなとみらいホール全体のプロモーションを計画的・戦略的に行います。「横浜みなとみらいホールは日本で一番の公共コンサートホールである」という誇りを、横浜市民の方々に広く持ってもらえるように努めます。また首都圏からの来訪率向上のために、市外における認知度も向上できるように取り組めます。ファンドレイジングについても、積極的に取り組んでいきます。

【施設維持管理】

安全・安心・快適な施設環境を維持するため、日常点検を通じ、不具合の早期発見に努めます。大規模修繕に関する協議を横浜市とともにを行い、計画の具体化に努めるとともに、予定されている修繕等の進行管理・調整を各所と連携をはかりながら進めます。危機管理・安全管理については、大規模震災等に備え日常的な意識の向上と訓練を引き続き重ねて参ります。

4 経営

(1) 施設機能の最大発揮と総合力ある経営について

<p>[目指す成果／アウトカム] <u>自主事業と施設貸出事業の最適配分を考えた経営で、ホール機能を最大限に発揮する</u> 横浜市の文化政策を実現化するため、ホール経営を統括する人材を配置するなど、専門人材の充実と適切な配置による組織体制の強化に努めます。また、横浜みなとみらいホールが持つ機能を最大限発揮し、音楽文化を通じて都市活性化に寄与することで、地域社会への貢献度を高めていきます。</p>	
<p>[取組内容] <u>(ア) 組織内連携と経営強化</u> ●組織体制を強化します。</p> <p><u>(イ) 財団全体での総合力発揮</u> ●財団組織・施設と連携し、横浜市が開催するダンス系フェスティバルの賑わいづくりに寄与します。</p> <p><u>(ウ) 社会的協働・連携による取組み</u> ●教育機関や地元オーケストラ団体との協働・連携に取組みます。</p>	<p>[達成指標] <u>(ア) 組織内連携と経営強化</u> ■適切な人員配置。</p> <p><u>(イ) 財団全体での総合力発揮</u> <input type="checkbox"/> ダンスと音楽のコラボレーション事業実施：3公演</p> <p><u>(ウ) 社会的協働・連携による取組み</u> <input type="checkbox"/> 教育機関との協働・連携企画：7団体 <input type="checkbox"/> オーケストラ団体との協働・連携企画：1件</p>

(2) 地域の活性化及び都市の魅力づくりの達成について

<p>[目指す成果／アウトカム] <u>観光振興や創造都市形成に向けた取り組みに協力し、魅力ある街づくりに努める</u> 周辺の商業施設、専門文化施設間の連携を一層強化し、来館者や来街者が「ホールのある街」を実感できるよう努めます。</p>	
<p>[取組内容] <u>(ア) 「ホールのある街」戦略</u> ●地域住民へホールや事業のPRを行います。 ●MMcc を活用し、集客や街のにぎわいに貢献します。</p> <p><u>(イ) ビフォア・アフターコンベンション対応の充実</u> ●近隣施設等の情報を収集し、協力体制を強化</p>	<p>[達成指標] <u>(ア) 「ホールのある街」戦略</u> <input type="checkbox"/> 近隣マンション自治会への協力・情報提供 ・マンション内設置のチラシラックのメンテナンス 毎月1回 <input type="checkbox"/> MMcc の活用 ・世話人会への参加情報交換 毎月1回 ・ホールへ呼び込むプログラムの提案</p> <p><u>(イ) ビフォア・アフターコンベンション対応の充実</u> ■パシフィコ横浜との情報交換実施：年4回</p>

<p>します。</p> <p>●コンベンションの一環としての利用促進</p> <p><u>(ウ)文化施設連携事業の展開</u></p> <p>●他の文化施設等との連携をはかり、相乗効果につなげます。</p> <p><u>(エ)商業連携の推進</u></p> <p>●近隣商業施設との連携を強化し、地域全体でのにぎわいを創出します。</p> <p><u>(オ)当日参加可能事業の情報発信</u></p> <p>●ツイッターで直前公演情報や当日券有無を発信</p> <p><u>(カ)パブリシティの強化</u></p> <p>※詳細は6-(3)「プロモーションの充実について」を参照</p>	<p><input type="checkbox"/>年1回誘致</p> <p><u>(ウ)文化施設連携事業の展開</u></p> <p><input type="checkbox"/>横浜能楽堂との提携</p> <p><input type="checkbox"/>横浜美術館との提携</p> <p><u>(エ)商業連携の推進</u></p> <p><input type="checkbox"/>クイーンズスクエア等とのイベント協力 年3回</p> <p><u>(オ)ツイッターでの発信</u></p> <p><input type="checkbox"/>年間200ツイート</p> <p><u>(カ)パブリシティの強化</u></p> <p>※詳細は6-(3)「プロモーションの充実について」を参照</p>
---	---

5 事業

(1) 多様な鑑賞機会を提供し音楽文化の裾野を広げるための取り組み

<p>[目指す成果/アウトカム]</p> <p>ア 世界的に評価の高い公演等、日本を代表するホールにふさわしい事業を充実させる 平成27年度は横浜アーツフェスティバル(ダンス)開催の年にあたります。 世界的に評価の高い公演と、ダンスの年にあわせた横浜オリジナルのダンスコラボレーション事業を展開。横浜からの発信事業、横浜芸術アクション事業を成功させ、日本を代表するコンサートホールとしての存在感を示し、横浜の都市ブランド向上に寄与します。</p> <p>イ 個性を発揮し、様々な人に継続して来館してもらえるよう、創意工夫を凝らした公演等を提供する 国内を代表するコンサートホールとしての音響特性を最大限活かしつつ、音楽の発信基地としての位置付けの中で、多様な音楽ジャンルに触れていただける事業ラインナップを揃え、市民の多様なニーズに応えます。それによって、他ジャンルのファン層が来館するきっかけを作り、横浜みなとみらいホールの顧客層につなげます。また、定期的に行われる低料金の事業シリーズを展開して、クラシック音楽鑑賞者層を戦略的に育てていきます。 当ホールに来場する、横浜市民をはじめとする来場者の方に、心躍る体験を提供していきます。</p>	
<p>[取組内容]</p> <p>ア 日本を代表するホールにふさわしい事業 (ア)世界的に評価の高い公演を実施</p> <p>●ビエロフラーヴェク指揮チェコフィル(横浜芸術アクション事業)</p>	<p>[達成指標]</p> <p>ア 日本を代表するホールにふさわしい事業 (ア)世界的に評価の高い事業</p> <p><input type="checkbox"/>顧客満足度 80%</p> <p><input type="checkbox"/>合計入場者数 3,000人</p>

<p>●NHK交響楽団横浜定期</p> <p>(イ)横浜芸術アクション事業としてダンスコラボレーション事業を企画実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ●熱帯 JAZZ 楽団 ●日本フィル+バレエ公演 ●石田泰尚+ダンス公演 ●民俗舞踊+邦楽器+韓国楽器 <p>イ 創意工夫を凝らした公演</p> <p>(ア)多様な音楽ジャンルのイベントを開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ●ロンドン交響楽団 (横浜芸術アクション事業) ●こどもの日コンサート ●ヤング・アメリカンズ・ショー ●デーモン閣下の邦楽維新 Collaboration ●ジルヴェスター・コンサート <p>(イ)これからの鑑賞者育成のため入門用事業として定期的に低料金コンサート(子ども向けの「おんがくひろば」は無料)を開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ●オルガン1ドルコンサート (クリスマス含む) ●みなとみらいクラシック・クルーズ ●みんな集まれ!おんがくひろば 	<p>(イ)ダンスコラボレーション事業</p> <p><input type="checkbox"/>顧客満足度 80%</p> <p><input type="checkbox"/>合計入場者数 4000人</p> <p>イ 創意工夫を凝らした公演</p> <p>(ア)多様な音楽ジャンルのイベント</p> <p><input type="checkbox"/>顧客満足度 80%</p> <p><input type="checkbox"/>合計入場者数 9,000人</p> <p>(イ)低料金コンサート</p> <p><input type="checkbox"/>顧客満足度 80%</p> <p><input type="checkbox"/>合計入場者数 18,800人</p>
---	--

(2)新たな音楽文化を提案する、優れた創造・創作の拠点を形成するための取り組み

<p>[目指す成果/アウトカム]</p> <p>ア 独自性の高い事業、国内外から注目を集めるものを企画制作する</p> <p>横浜みなとみらいホール独自の企画によって、新たな創造の場・創作拠点となり、国内外から注目を集めるホールになります。国内のホールにも企画を巡回させ、横浜みなとみらいホールの名を発信します。</p> <p>イ 「横浜芸術アクション事業」を実施する</p> <p>成功に終わった平成25年度の「横浜音祭り2013」の成果を踏まえ、平成27年度も予算の範囲内で魅力的な演奏会を開催していきます。特にダンスとのコラボレーション事業を企画の核としながら、世界的なオーケストラの優良なもの、さらに今後の市場が見込まれるゲーム音楽など多様な目配りをした事業ラインナップで、横浜の都市ブランド向上に寄与します。</p>	
<p>[取組内容]</p> <p>ア 独自性の高い事業</p> <p>(ア)横浜みなとみらいホール独自の</p>	<p>[達成指標]</p> <p>ア 独自性の高い事業</p> <p>(ア)小ホールオペラ</p>

<p>小ホールオペラシリーズの開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ●「コジ・ファン・トゥッテ」 <p>(イ)現代作曲家シリーズ</p> <ul style="list-style-type: none"> ●若手作曲家を起用した「Just Composed2015」 <p>(ウ)オルガン・シリーズ</p> <ul style="list-style-type: none"> ●オルガンリサイタルなど、他施設との連携事業の実施 <p>イ 横浜芸術アクション事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ●ビエロフラワーヴェク指揮チェコフィル ●熱帯 JAZZ 楽団 ●日本フィル+バレエ公演 ●石田泰尚+ダンス公演 ●民俗舞踊+邦楽器+韓国楽器 ●ロンドン交響楽団 ●こどもの日コンサート ●ヤング・アメリカンズ・ショー 	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/>顧客満足度 80% <input type="checkbox"/>総入場者数 600 人 <p>(イ)現代作曲家シリーズ</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/>入場者数 250 人 <p>(ウ)オルガン・シリーズ</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/>他都市連携事業 1 回 <p>イ 横浜芸術アクション事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/>顧客満足度 80% <input type="checkbox"/>合計入場者数 12,450 人
---	---

(3)次代を担う芸術家、音楽と市民をつなぐ人材を育み、活動の機会を提供するための取り組み

<p>[目指す成果/アウトカム]</p> <p>ア 若い音楽家の育成や支援に取り組む</p> <p>若手の芸術家を鑑賞事業への出演や、体験型ワークショップ講師として起用し任せることで、日本の音楽芸術振興につながるような芸術家育成拠点となります。若手の演奏家としての活動支援とともに、普及啓発を担う人材としての成長を支援します。</p> <p>イ 芸術家や音楽と市民をつなぐ人材の育成に取り組む</p> <p>市民が鑑賞行為以外のさまざまな形で音楽文化との関わりを通じ、積極的に芸術とコンタクトし合う気風を醸成し、音楽文化の定着をより強固にします。市民の方々が芸術家と市民をつなぐ「コーディネーター」となり、活躍する土壌を作ります。</p>	
<p>[取組内容]</p> <p>ア 若い音楽家の育成や支援</p> <p>(ア)演奏会への出演</p> <ul style="list-style-type: none"> ●小ホールオペラや「みなクル」「みんな集まれ！」等への積極的な登用 <p>(イ)現代の作曲家育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ●Just Composed 開催 	<p>[達成指標]</p> <p>ア 若い音楽家の育成や支援</p> <p>(ア) 演奏会への出演</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/>若手歌手/演奏家登用 10 人 <p>(イ) 現代の作曲家育成</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/>若手作曲家 1 名の登用

<p>●関連プレトーク開催</p> <p>(ウ)一流奏者の指導を少年期から体験させる</p> <ul style="list-style-type: none"> ●「みなとみらい Super Big Band」 ●「オルガン体験弾いてみよう」 ●「金の卵探しています」 ●「吹奏楽クリニック」 <p>(エ)オルガニスト育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ●オルガニスト・インターンの育成 ●「みなとみらいルーシーズ」リサイタル ●1ドル・コンサートでの修了生起用 <p>(オ)ピアニスト育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ●第34回横浜市招待国際ピアノ演奏会の開催 <p>イ 芸術家や音楽と市民をつなぐ人材の育成</p> <p>(ア)「コンサートを作ろう」企画修了生</p> <ul style="list-style-type: none"> ●企画参加修了生が活動を継続する ●年間3回プロデュース事業開催 <p>(イ)音楽大学やNPO法人、地域企業等と提携し、地域とつながった企画運営をします</p>	<p>(ウ)一流奏者の指導を少年期から体験させる</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/>「Big Band」 20人参加 <input type="checkbox"/>「オルガン」 60人参加 <input type="checkbox"/>「金の卵」 50人申し込み <input type="checkbox"/>「クリニック」 2校の参加 <p>(エ)オルガニスト</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/>1年をかけて1名の育成 <input type="checkbox"/>年間を通じて 10名の起用 <p>(オ)ピアニスト</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/>若手ピアニスト4名の起用 <p>イ 芸術家や音楽と市民をつなぐ人材の育成</p> <p>(ア)企画修了生による協力イベント</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/>合計入場者数 300人 <p>(イ)音楽大学・NPO・企業との連携事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/>提携事業 6事業
--	--

(4) 未来を担う子どもたちに音楽を知り、学び、体験する機会を提供するための取り組み

<p>[目指す成果/アウトカム]</p> <p>・子ども対象の、音楽による創造活動体験の企画を施設内外で提供する。また、障がいのある子どもや介護を必要とする子どもなどへの取り組みも行う</p> <p>横浜みなとみらいホールで15年かけて最も力を入れてきた子ども対象事業について、今後10年の展開も視野に入れて、事業を再編しつつ、活性化させていきます。</p>	
<p>[取組内容]</p> <p>(ア)夏の時期の家族向けフェスティバルを短期集中型に再編します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●みなとみらいわくわく遊音地 <p>8月14日～16日に開催</p>	<p>[達成指標]</p> <p>(ア)フェスティバル再編</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/>入場者数 6,000人 <input type="checkbox"/>顧客満足度 80%

<p>(イ) 気軽に参加出来る事業の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ●心の教育ふれあいコンサート ●0歳からのオルガンコンサート <p>(ウ) 障がいのある子ども向けにオルガンワークショップを実施します</p> <ul style="list-style-type: none"> ●盲特別支援学校との提携事業 <p>(ウ) 音楽専科教員と連絡体制を整え、希望される音楽講座を開催します</p> <ul style="list-style-type: none"> ●Music Teachers Project の開催 	<p>(イ) 気軽に参加出来る事業の開催</p> <p><input type="checkbox"/> 入場者数 32,000 人</p> <p>(ウ) 障がいのある子ども向け事業</p> <p><input type="checkbox"/> 年間 2 回開催</p> <p>(ウ) 音楽専科教員との音楽講座</p> <p><input type="checkbox"/> 2 回開催</p>
--	--

(5) 音楽文化の持つ可能性、文化芸術の持つ社会的な力を活かし、地域社会に貢献する取り組み

<p>[目指す成果／アウトカム]</p> <p>・多様なアウトリーチ等の研究をし、社会貢献する</p> <p>アコースティックな楽器をテーマとして、様々な楽器の多様なアウトリーチ事業を展開し、ノウハウを蓄積していきつつ、音楽に触れにくい地域の方々に音楽文化の魅力を直接伝え、地域への愛着を育てます。</p>	
<p>[取組内容]</p> <p>(ア) 小学校・障がい者施設をはじめとしてアウトリーチ事業に積極的に取り組みます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●小学校 ●障がい者施設 ●病院・福祉施設等 <p>(イ) 商店街のイベント広場等でのアウトリーチ拡充します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○クイーンズサークル ○Mark Is ○中華街 <p>(ウ) 「街の音楽院」シリーズ等レクチャーコンサート</p> <ul style="list-style-type: none"> ●街の音楽院 ●その他のレクチャー(コンサート)等 	<p>[達成指標]</p> <p>(ア) アウトリーチ事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 3 校 <input type="checkbox"/> 1 施設 <input type="checkbox"/> 1 施設 <p>(イ) 商店街</p> <p><input type="checkbox"/> 年間 4 回以上開催</p> <p>(ウ) レクチャーコンサート</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 総入場者数 250 人 <input type="checkbox"/> 街の音楽院 3 回開催 <input type="checkbox"/> その他レクチャー等 3 回開催

(6) ホールに蓄積された音楽情報やネットワーク、ノウハウを活かした市民の音楽活動支援

<p>[目指す成果／アウトカム]</p> <p>ア 主催公演の記録化、ホール公演情報の整理 主催公演の写真・映像・音声の記録化を実施していきます。記録化した情報の活用方法を web での発信を中心に検討していきます。</p> <p>イ 音楽情報や国内外の芸術家や機関とのネットワークを活用し、市民の音楽活動へのコーディネーター機能を発揮 芸術家や諸機関とのネットワークを生かし、「街の音楽院」などの講演イベント企画の中で市民の音楽活動に資するような講演会を実施していきます。</p>	
<p>[取組内容]</p> <p>ア 公演情報の記録と整理</p> <p>イ コーディネーター機能 ●街の音楽院や自主イベントにまつわる講演会で半数程度を市民音楽活動に役立つ内容にします。</p>	<p>[達成指標]</p> <p>ア 公演情報の記録と整理 ○主催公演を記録します。</p> <p>イ コーディネーター機能 □3 回</p>

6 運営

(1) 利用者ニーズや利便性に考慮し、柔軟に対応して施設機能を最大限に発揮するための取り組み

<p>[目指す成果／アウトカム]</p> <p><u>ア 柔軟に対応して、市民の創作活動・発表の場として広く認知されるよう取り組む</u> 多様な利用希望や利便性に配慮した柔軟な対応により、当館の特性を活かした施設提供を行います。また、市民の創作活動や発表の場として広く認知され愛される取組みを展開します。</p> <p><u>イ 音楽を楽しむ層の拡大に取り組む</u> 近隣施設や企業等との連携を強化し、音楽演奏を組み入れた形での利用を提案。ホールにあまり縁のない客層がホールに足を運び、ホールの認知度を高める機会の一助とします。</p> <p><u>ウ 来館者に心地よい適切な環境が提供され、日本を代表するコンサートホールに相応しいと感じられる、質の高いサービスを安定的に提供する</u> 利用者の満足度を高めるべく、利用者と直接意見を交わす場を設けてニーズを探ります。また、第一線でお客様と接するレセプションニストの接遇能力のブラッシュアップの為、年間を通じて研修を行います。</p>	
<p>[取組内容]</p> <p><u>ア 市民の創作活動・発表の場として広く認知</u> ●レセプションルーム利用の見本となるイベン</p>	<p>[達成指標]</p> <p><u>ア 市民の創作活動・発表の場として広く認知</u> □年 2 回開催</p>

<p>トを実施し、利用促進を図ります。</p> <p><u>イ 音楽を楽しむ層の拡大</u> 近隣施設・企業等のコンベンションの一環としての貸出を実施します。</p> <p><u>ウ 質の高いサービスを安定的に提供</u> ●レセプションист研修の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新採用時研修 ・フォローアップ研修 ・チーフ研修 ・コーチャー研修 ・全体研修 ・避難訓練 	<p><u>イ 音楽を楽しむ層の拡大</u> □年1回開催</p> <p><u>ウ 質の高いサービスを安定的に提供</u> □レセプションист研修</p> <ul style="list-style-type: none"> ・採用時2日間、その後2回に分けて実施 ・採用6か月後1回 ・年1回 ・年1回 ・年1回 ・年2回
---	---

(2) 日本を代表するとともに、市民にとって身近で愛されるコンサートホールとしてのサービスとホスピタリティを提供するための取り組み

<p>[目指す成果／アウトカム]</p> <p><u>ア 施設の貸出について、音楽専門ホールとしての特性を前提としつつ利用促進に取り組む</u> 近隣の企業と組んで、ホールのイメージが企業にとっても付加価値となるような、企業の顧客向けのコンサート等を開催し、双方にとってメリットとなるような利用を促進します。</p> <p><u>イ 利用者のニーズ、満足度等を把握し分析を行い、事業の企画や運営を改善する</u> 自主事業では、全事業でアンケートを実施し、鑑賞者・参加者のニーズを探ります。出演者・企画者等ともアンケートを共有しあうことで、お客様の声を次回以降の企画に生かします 運営では、利用者懇談会やアンケートを引き続き実施し、利用者のニーズを探り、そこから客観的なホールの強みを発見し、それを生かしていきます。また、お客様と第一線で接するレセプションистのマネージャーとのミーティングを定期的実施し、現場の声を共有してホール運営に活かします。</p> <p><u>ウ 施設見学については、ホールの下見対応に加えてホールの使い方の他、運営面で必要なあれこれをレクチャーし、安心して本番を迎えてもらえるような機会を設けます。</u></p> <p><u>エ ホールの発信性を高め、音楽文化の振興に寄与する商品を揃え、ショップ等で販売する</u> 来館者サービスの一環として、ショップでは「音楽のある生活を楽しむ」をコンセプトに様々なグッズを展開しています。引き続き「横浜みなとみらいホールでしか買えないもの」や気軽にお買い求めいただける商品ラインナップを更に充実させていきます。</p>

オ チケット販売だけでないホールチケットセンター

自主公演、貸館公演問わず、各種の問い合わせや相談に対し、丁寧で正確に対応しつつ、公演チケットを販売する窓口を運営します

カ 主催者の求めに応じ、公演開催時に飲料等の飲食サービスを提供できる体制を用意する

催しの内容によってドリンクサービスの内容を調整したりなど、利用者のニーズに応じて柔軟な対応でドリンクコーナーの営業を行います。

キ 託児サービスを提供する

専門業者に委託して、公演中の託児サービスを実施します。昨年度に引き続き、託児サービスの存在を HP 等で積極的に周知し、子育て期間中のお客様がホールに足を運びやすい環境を整えます。

[取組内容]

ア 利用促進

- 近隣企業への利用促進活動を実施
- 利用率
 - 大ホール
 - 小ホール
 - リハーサル室
 - レセプションルーム
 - 音楽練習室

イ 満足度の高い運営

- レセプションист・マネージャーミーティングの実施
- レセプションистの業務をアピールする機会の設定

ウ 施設見学

- 通常のホール利用下見対応

エ ショップ販売

- 売れ筋の傾向を見極め、新規取扱い商品の開拓
- 立ち寄りたくなるショップの PR

オ 問合せ相談・チケットセンター窓口

- 丁寧で正確な対応を実施します。

[達成指標]

ア 利用促進

- 近隣企業の顧客向けコンサート：年 2 件
- 利用率 (H25 年度音祭り開催)
 - * 93% (H25 実績 97%)
 - * 96% (H25 実績 98%)
 - * 65% (H25 実績 66%)
 - * 25% (H25 実績 25%)
 - * 75% (H25 実績 72%)

イ 満足度の高い運営

- 年 10 回
- 年 1 回

ウ 施設見学

- 年間 90 件

エ ショップ販売

- 新規取扱い商品 4 点
- 公演に適した商品陳列を工夫して行う。

オ 問合せ相談・チケットセンター窓口

- 業務の基準に従い適切に実施します。

<p><u>カ ドリンクコーナー</u> 大ホール・小ホールホワイエに設置されているドリンクコーナーにおいて主催者の求めに応じ公演開催時に飲料等の飲食サービスを提供できる体制を用意します。</p> <p><u>キ 託児サービス</u> ●HP 等を活用した託児サービスの周知</p>	<p><u>カ ドリンクコーナー</u> ■業務の基準に従い適切に実施します。</p> <p><u>キ 託児サービス</u> □年 2 回以上</p>
---	---

(3) プロモーションの充実

<p>[目指す成果／アウトカム]</p> <p><u>ア 適切な商圏・対象層の設定、媒体の選択を行い、効率的・戦略的プロモーションに取り組む</u> プロモーションを強化し横浜みなとみらいホール全体としての発信力を高めることによって、ホールの魅力を伝え、お客様との信頼関係を構築し、「共感」を軸とした独自ブランドを形成します。</p> <p><u>イ Web ツールを活用し、施設案内や公演情報だけでなく利用者が必要とする様々な情報を見やすく提供する</u> 購買前行動に直結しており、低コストで機動性に優れた WEB サイトを中心としたオウンドメディアの充実を図ることにより、発信力を強化します。</p>	
<p>[取組内容]</p> <p><u>ア 効率的・戦略的プロモーション</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ●首都圏へのプロモーション ●プレス懇談会実施によるメディアとの強固な関係構築 ●各媒体との関係強化・情報発信力アップ ●友の会入会キャンペーン実施 ●公開リハーサル・ロビーコンサート実施 ●コンサートカレンダーの発行 <p><u>イ WEB を活用したプロモーション</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ●WEB サイトの充実 ●メールマガジン配信 ●メールマガジン登録者数拡大 ●ツイッター運用・活用 ●WEB 上の読み物ページ作成 ●チケットセンターWEB での販売強化を通じた新たな顧客層の開拓 	<p>[達成指標]</p> <p><u>ア 効率的・戦略的プロモーション</u></p> <ul style="list-style-type: none"> □首都圏との広報連携 □年 1 回 □各媒体への情報掲載 月間 70 件 □年間 1 回 □公開リハーサル・ロビーコンサート実施 計 3 回 □コンサートカレンダー 年 4 回 年間コンサートカレンダー 年 1 回 <p><u>イ WEB を活用したプロモーション</u></p> <ul style="list-style-type: none"> □トップページアクセス数 年間 32 万件 □メールマガジン配信 月 1 回 □7,000 名 □ツイッターでの発信 年間 200 ツイート □ツイッターフォロワー 3,300 件 □WEB 上の読み物ページ 年 4 回 □WEB 登録者優遇策の導入

(4) 条例の遵守

<p>[取組内容]</p> <p><u>ア 休館日</u></p> <p>●保守点検、定期整備、大規模修繕のため、必要な施設点検日（休館日）を設定します。</p> <p><u>イ 開館時間</u></p> <p>●条例及び規則に基づく設定</p> <p>●利用者の希望等、延長利用などに柔軟に対応します。</p> <p><u>ウ 利用料金等</u></p> <p>●条例に基づいた適切な料金徴収</p> <p><u>エ 貸出業務</u></p> <p><u>オ 留意事項</u></p>	<p>[達成指標]</p> <p><u>ア 休館日</u></p> <p>□年間 29 日の休館日を確保しつつ、10～12 月のコンサートシーズンは月 1 日の休館日とし、柔軟に対応します。</p> <p><u>イ 開館時間</u></p> <p>□9：00～22：00</p> <p>■早朝利用、深夜利用など可能な範囲で対応します。</p> <p><u>ウ 利用料金等</u></p> <p>■条例に基づく適正な料金徴収を行います。</p> <p><u>エ 貸出業務</u></p> <p>■利用者ニーズに配慮し、条例・規則に基づいた貸出を実施します。</p> <p>■撮影等の利用についても柔軟に対応します。</p> <p><u>オ 留意事項</u></p> <p>■条例、規則に基づき、設置目的や利用者の安全等に配慮した貸出を実施します。</p>
---	--

7 施設維持管理

(1) 快適な環境を維持するとともに、安全かつ安心して利用できる施設保全

[取組内容]	[達成指標]
<p><u>ア 適切な管理</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ●パイプオルガンやピアノの定期的メンテナンス実施 ●舞台・音響・照明の専門業者に舞台技術を委託 ●統括管理・設備管理・清掃管理を専門業者に委託し、相互の連携をはかる。 ●横浜市との連携による大規模修繕計画の策定 ●QSY 管理組合や横浜市と連動した危機管理の実施 ●過失事故の防止 <p><u>イ 施設維持管理業務</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ●QSY 管理組合事務局会議、管理打合せ等に参加し、周辺との連携をはかります。 ●設備関係の点検・定期整備業務 ●舞台関係の点検・定期整備業務 ●設備・舞台スタッフとの小破修繕にかかる情報交換 <p><u>ウ 環境維持管理業務</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ●法令等に基づき、適正な施設維持管理に努めます。空気環境測定・清掃等の仕様を定めて建築衛生環境を維持管理します。 <p><u>エ 保安警備業務</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ●業務の基準に基づき保安警備業務を適切に行います。 	<p><u>ア 適切な管理</u></p> <ul style="list-style-type: none"> □定期メンテナンス 年1回 <ul style="list-style-type: none"> ・パイプオルガン 年1回 ・コンサートピアノ 年1回 ・練習室ピアノ 年12回 ・リハーサル室ピアノ 年1回 ・楽屋ピアノ 年3回 ■設備不具合や要清掃箇所など日々の連携をはかるとともに、連絡票等での対応チェックを行います。 ■専門業者への委託による専門知識を活用し、修繕時期の決定、省エネ提案などに反映させます。 ■休館日設定や、予算面などの情報交換を密にはかり、大規模修繕計画を進めます。 □過失事故0件 <p><u>イ 施設維持管理業務</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ■会議への参加、必要事項を施設内に周知 ■点検・定期整備事項について、年間計画作成・実施 □客席保守点検：大小ホールとも 年2回 □舞台照明定期保守 年3回 □舞台音響定期保守 年2回 □舞台機構定期保守 年3回 <p><u>ウ 環境維持管理業務</u></p> <ul style="list-style-type: none"> □空気環境測定 年6回 □照度測定 年2回 ■ごみ分別の徹底 <p><u>エ 保安警備業務</u></p> <ul style="list-style-type: none"> □過失事故0件

<p><u>オ 駐車場・搬入口管理業務</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ●業務の基準に基づき駐車場御利用者等の安全確保に努めます。一般歩道に面した搬入口での搬出入には必ず立ち会います。 <p><u>カ 6階屋上庭園の取り扱い</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ●植栽の手入れを、統括管理業者を通じて専門業者に委託します。 ●植栽や屋上の劣化状況を把握し、横浜市と共有します。 ●劣化が進行しているウッドデッキの安全確認を配慮します。 <p><u>キ 防災等</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ●業務の基準に基づき、防火防災に努めます。 <p><u>ク 緊急時の対応</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ●防災マニュアル、危機管理マニュアル ●救急要請、事故報告 <p><u>ケ 有資格者の配置</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ●電気主任技術者 ●建築物環境衛生管理技術者 ●ボイラー技師 ●無線従事者 ●甲種防火管理者及び防災管理者 <p><u>コ 条例で定める業務以外で施設を使用する場合</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ●条例及び規則に基づき、利用申請について審査し、適正な手続きを行います。 	<p><u>オ 駐車場・搬入口管理業務</u></p> <ul style="list-style-type: none"> □過失事故 0 件 <p><u>カ 6階屋上庭園の取り扱い</u></p> <ul style="list-style-type: none"> □植栽手入れ 年 5 回 ■日々の状況把握に努めます。 <p><u>キ 防災等</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ■QSY 防火防災管理協議会に参加し、地域全体での情報共有します。 □防災管理自主点検 年 2 回 □防災設備点検 年 1 回 □消防訓練・防災訓練 避難訓練コンサート 1 回を含む年 2 回 <p><u>ク 緊急時の対応</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ■施設内での周知の場を設定 ■緊急時の救急要請、事故報告を速やかに行うとともに、スタッフへの周知を徹底します。 <p><u>ケ 有資格者の配置</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ■QSY 管理組合の電気主任技術者をもって配置にかえます。 ■管理センターに技術者を設定（ボイラー含む） □防火・防災管理者 職員 1 名配置 □無線従事者 2 名配置 <p><u>コ 条例で定める業務以外で施設を使用する場合</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ■事例が発生する場合、速やかに手続きを行います。
---	--

8 その他の業務

(1) 政策協働型指定管理を推進し、横浜市の専門文化施設としての最適な管理運営の実現

<p>[取組内容]</p> <p><u>ア 政策経営協議会</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ●政策経営協議会を開催します。 <p><u>イ 計画策定及び業務報告</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ●モニタリングを実施します。 ●政策経営協議会での協議に基づき、政策や社会情勢を反映した、効果的に年間業務計画を策定します。 <p><u>ウ 業務評価</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ●PDCA サイクルを徹底し、各評価の結果を政策経営協議会等で検討し、今後の運営に反映させます。 	<p>[達成指標]</p> <p><u>ア 政策経営協議会</u></p> <ul style="list-style-type: none"> □年 4 回 <p><u>イ 計画策定及び業務報告</u></p> <ul style="list-style-type: none"> □原則月 1 回（8 月 2 月を除く） ■モニタリング時の情報交換を密にし、次年度の計画につなげます。 <p><u>ウ 業務評価</u></p> <ul style="list-style-type: none"> □自己評価・横浜市評価 年 2 回 ■指定管理者選定評価委員会による外部評価・業務視察・ヒアリングの実施
--	--

(2) 収支計画

<p>[取組内容]</p> <p><u>ア 収入(収入向上及び外部資金導入の努力)</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ●ファンドレイジング活動に取り組みます。 <p><u>イ 支出(適切な支出配分、コスト削減への努力)</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ●管理費の多くを占めている光熱水費を節約することで、コストの削減につなげます。 	<p>[達成指標]</p> <p><u>ア 収入</u></p> <ul style="list-style-type: none"> □企業協賛金・助成金獲得 37,625 千円 <p><u>イ 支出</u></p> <ul style="list-style-type: none"> □電気使用量・冷熱水量 25 年度使用量維持
--	---

9 組織に関する業務の計画

(1) 組織について

<p>[取組内容]</p> <p><u>ア 明確な責任体制の構築</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ●新たな組織図及びグループ毎の業務分担表作成 ●組織内意思決定 <p><u>イ 専門人材の確保と高い専門性を発揮できる組織</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ●事業、運営、施設維持管理等施設全体を管理運営するために必要な人材と人員を確保し、より高い専門性を発揮できる組織づくりに努めます。 	<p>[達成指標]</p> <p><u>ア 明確な責任体制の構築</u></p> <ul style="list-style-type: none"> □企画運営会議を毎週開催し、意思決定を行います。 <p><u>イ 専門人材の確保と高い専門性を発揮できる組織</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ■各専門性に応じた適正な人員配置を行います。
---	--

(2) 人材育成

<p>[取組内容]</p> <p>施設における組織力の向上のため、人材育成に取組めます。</p> <ul style="list-style-type: none">●MB0 による OJT を積極的に実施し、人材育成のツールとして積極的に活用します。●ホール独自の研修として、レセプション研修、職員への個人情報研修、危機管理訓練を実施します。●事務局研修への参加	<p>[達成指標]</p> <ul style="list-style-type: none">■MB0 の目標設定、中間・期末評価において、各自の業務の進行確認を推進し、評価のフィードバックを適切に行います。■レセプション研修：6（1）参照 職員への個人情報保護研修 1回 危機管理訓練 1回■事務局研修に積極的に参加できる体制をつくりまします。
--	--

10 留意事項

(1) 保険及び損害賠償の取り扱い

<p>[取組内容]</p> <ul style="list-style-type: none">●施設賠償責任者保険、動産総合保険、レジヤサービス費用保険	<p>[達成指標]</p> <ul style="list-style-type: none">■各種保険に加入し、保険対応が必要な案件があった場合は、速やかに対応します。
---	--

(2) 法令の遵守と個人情報保護

<p>[取組内容]</p> <ul style="list-style-type: none">●公の施設の管理者として法令を遵守し、適正な個人情報の取扱いを推進します。	<p>[達成指標]</p> <ul style="list-style-type: none">■個人情報取扱いマニュアルの周知徹底■個人情報チェックリストによる点検実施
---	--

(3) 情報公開

<p>[取組内容]</p> <ul style="list-style-type: none">●公の施設の管理者として、説明責任を果たす観点から、情報公開に対し積極的に取り組みます。	<p>[達成指標]</p> <ul style="list-style-type: none">■横浜市、財団事務局との連携をはかり、情報公開を行います。
--	---

(4) 市及び関係機関等との連絡調整

<p>[取組内容]</p> <ul style="list-style-type: none">●横浜市や関連機関との連絡を密にし、情報を共有します。	<p>[達成指標]</p> <ul style="list-style-type: none">■政策経営協議会や関係機関との会議はもちろん、日頃の連携をはかり、報告等すみやかに行います。
---	--

11 収支予算額について

(単位：千円)

項目	予算額	備考
収入		
指定管理料収入	526,521	
受託料収入	18,370	
利用料金収入	203,085	
事業収入	144,999	
助成金・協賛金	37,625	
その他収入	2,057	
合計	932,657	

支出		
人件費	201,512	
事務費	137,034	
管理費	328,188	
負担金	24,087	
事業費	222,560	
その他支出	19,276	
合計	932,657	

収支計	0	
-----	---	--